

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年8月31日

号機

3

件名

油漏えいに伴う低起動変圧器の停止について（区分：Ⅲ）

【概要】

2022年8月30日、3号機屋外変圧器エリア（非管理区域）において、低起動変圧器[※]の錆取り作業中に当該変圧器の点検口の蓋から絶縁油の漏えい（滲み程度）を確認しました。その後、漏えいが継続していることから、漏えい箇所の補修のため、当該変圧器を停止いたしました。なお、漏えいしている絶縁油は適宜拭き取りを実施しており、外部への流出はなく、環境への影響もありません。

【対応状況】

漏えい箇所での絶縁油の滲みが継続していたことから、漏えい箇所の補修（シール材での漏えい箇所の閉止）を実施しました。そのことを踏まえて、9月6日に変圧器を起動した状態での漏えい状況を確認したところ、極めて微量（触れると油分を感じる程度）の油の滲みを確認したことから、当該変圧器を停止しました。現在、シール材の塗布範囲や塗布方法を見直し、補修を行っているところです。

（2022年9月8日までにお知らせ済み）

【対応結果】

上記補修を実施し、9月12日に変圧器を起動した状態での絶縁油の漏えいが無いことを確認したうえで、当該変圧器での電力供給を再開しております。なお、現在においても油の漏えいは確認されておられません。

※ 低起動変圧器

プラント停止中において所内電源へ電力を供給するための設備。

<補修前>



<補修後>



プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月14日

号機

3・4

件名

サービス建屋地下1階ダクト穴からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月13日午前10時20分頃、管理区域で作業するための保護衣・保護具の保管室（管理区域）にて、協力企業作業員が、「点検のため保温材を外した際に空調ダクトに穴(直径1cm程度、2箇所)が開き、その穴から空気が吸引されていること」を確認しました。10時50分頃、テープによる応急処置を実施し、当該穴からの空気の吸引は停止しております。

【対応状況】

その後、当該ダクトから吸引された空気が非管理区域側へ流れていたことが判明したため、ダクト穴周辺で放射能測定を実施し、汚染がないことを確認しております。
なお、本事案の原因等については、現在調査中です。

(2022年9月14日にお知らせ済み)

②

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月21日

号機

1

件名

港湾内への油の流出の可能性について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月12日、1号機屋外に設置している空調設備（非管理区域）において、微量の油漏れがあり、設備の停止および油漏れ箇所の養生等を実施しておりました。

（不適合情報として9月20日当社ホームページへ掲載済）

9月20日、9時34分頃、当該設備の状況確認をした当社社員が、空調設備の養生箇所から油膜が広がっていることを確認しました。油膜については、吸着マットによる回収を実施していますが、油膜は排水路に通じていたことから、極僅かに（数十cc程度）港湾内に到達した可能性もあり、10時45分に長岡地域振興局に報告しました。

【対応状況】

今後、本事案の原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

（2022年9月21日にお知らせ済み）

③

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月27日

号機

-

件名

保安規定対象記録の未保存について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月8日、社内にてマニュアル改訂準備のため前回の実施状況を確認していたところ、マニュアル改訂時に添付する審査のためのチェックシート^{※1}（保安規定120条対象記録に該当）が見当たらないことに気づきました。

当該シートの検索と合わせて、過去10年分のチェックシートについて、その保存状況^{※2}を所内各所で調査した結果、9月27日までに合計5件について、同様に保存されていないことを確認しました。

なお、マニュアル改訂の際には、マニュアル総括担当箇所が必ず当該チェックシートを使用して第三者審査を行う手順となっており、マニュアル承認過程でチェックシートを必要とすることから、作成はされていたものと判断しております。

※1 マニュアルとして必要な要件（目的、要求事項、責任・権限、記録、改訂理由の明記など）を満たしているかを審査するためのチェックリスト

※2 原子炉施設保安規定では保存期間5年、マニュアルでは保存期間10年

【対応状況】

本件は当該チェックシートを適切に保存できていなかったという日常業務における不備と考えており、引き続き原因調査を行い、その結果を踏まえて対応を検討してまいります。

（2022年9月27日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年10月5日

号機

2

件名

高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の燃料配管からの油漏れについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年10月4日、2号機原子炉建屋付属棟地下1階、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機[※]室（非管理区域）にて、点検後の復旧作業に伴い燃料タンクからディーゼル機関への燃料（軽油）の通油作業を実施していたところ、燃料配管の継ぎ手部分から油漏れを確認したことから、通油作業を中止するとともに公設消防へ連絡しました。

現在、油漏れは停止しており、漏れ出た量は約100Lと推定しています。

なお、油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

※ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機

外部電源喪失時に高圧炉心スプレイ系で使用する負荷へ電源を供給するための非常用の発電機

⑤ 【対応状況】

今後、油が漏れた原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。

（2022年10月5日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年10月11日

号機

発電所構内
(屋外)

件名

大湊側屋外（非管理区域）純水タンクエリアにおける傷病者の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年10月7日、大湊側屋外純水タンクエリアにおいて、純水タンク内面の塗装剥離作業を終えた協力企業作業員が、耳鳴りの症状があったことから17時頃に自家用車で病院へ向かいました。診察を受けた結果、「突発性難聴(両耳)」と診断されました。現在、耳鳴りの症状は回復しております。

【対応状況】

当該作業員へ聞き取りを実施したところ、騒音が発生する作業であったものの、耳栓を装着せずに作業をしていたことを確認しておりますが、現在、詳細調査中です。
引き続き、発電所関係者に安全装備品の確実な着用について周知・徹底し、再発防止に努めてまいります。

(2022年10月11日にお知らせ済み)

⑥

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機 (A) からの油漏れについて (区分：Ⅲ)	発生日	2022年3月18日
号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について (区分：Ⅲ)	発生日	2022年8月17日

不適合情報

2022年9月7日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	放射性廃棄物処理設備中央制御室において、制御用コントローラ盤故障および多重伝送現場盤異常の警報の発生を確認した。調査の結果、多重伝送現場盤内電源装置の不具合と推定。当該電源装置を点検・修理。	2022/09/04	
2	5号機	中性子線サーベイメータ(1台)の点検時、指示値が判定基準を逸脱していることを確認した。当該測定器の使用を禁止し修理。前回点検以降の測定記録を調査し、影響評価を実施。	2022/09/01	

不適合情報

2022年9月8日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	消防設備の点検時、軽油タンク泡消火設備泡原液貯蔵タンク清掃後の水張り試験において、排水配管からの漏水を確認した。止水カップリングにて応急処置済み。当該排水配管を交換。	2022/08/25	
2	2号機	原子炉建屋付属棟1階(非管理区域)原子炉区域送風機室火災監視システム(火災検知器と監視カメラとの連動システム)のカメラに、カバーの破損を確認した。当該カバーを交換。なお、他のカメラで映像確認が可能のため、監視に影響なし。	2022/08/19	
3	2号機	原子炉建屋付属棟2階(非管理区域)南西排煙機ダクト点検口外枠に、腐食および上部蝶番に折損を確認した。点検口を養生テープで仮固定済み。当該部を修理。	2022/09/03	
4	3号機	タービン建屋換気空調系排風機(A)(B)に、吸込み側ベーン(流量調整用ガイド羽根)の動作不良を確認した。当該ベーンを点検・修理。なお、通常運転時のベーン開度は確保できているため、排風機の運転に影響なし。	2022/08/29	
5	3号機	タービン建屋中2階(非管理区域)換気空調補機常用冷却水系冷凍機冷媒ガス濃度検知警報装置(B)に、異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、冷媒ガス流量計の固着と推定。当該流量計を点検・修理。なお、警報装置(C)は正常で、ガス濃度監視に影響なし。	2022/09/06	
6	4号機	取水口除塵装置バー回転式スクリーン(A、B、C、E、F)のハウジング下部およびスクリーン洗浄水ストレーナー(A)下部サポートに腐食を確認した。当該部を修理。	2022/05/25	
7	その他	防護本部の火災監視システム(火災検知器と監視カメラとの連動システム)に異常を示す警報が発生し、監視用モニターの映像が消失することを確認した。調査の結果、無停電電源装置の不具合と推定。当該無停電電源装置を交換。なお、副防護本部のモニターで映像確認が可能のため、監視に影響なし。	2022/08/26	
8	その他	社内文書の自然現象対応要領で定めている有毒ガス発生時の防護具(循環式酸素呼吸器)の装着に関する事項の訓練において、受講対象者の一部の訓練内容が不足していることを確認した。調査の結果、訓練対象者ごとに訓練の実施責任者を明確に定め、訓練内容を指示していなかったことが原因と推定。当該事象の対策を検討。	2022/08/30	
9	その他	固体廃棄物貯蔵庫第2棟空調機械室(管理区域:A区域)の床面に、水溜まり(約2リットル)を確認した。拭き取り実施済み。調査の結果、空調凝縮水排水配管の詰まりと推定。当該排水配管を点検・清掃。	2022/09/05	

不適合情報

2022年9月9日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	中央制御室防災監視盤に、タービン建屋地下3階(管理区域)復水系サンプリング室の火災警報の発生を確認した。直ちに現場を確認し、炎や煙がないことから誤報と判断。当該エリアの感知器を交換し復旧済み。	2022/09/06	
2	4号機	タービン建屋2階(非管理区域)給気処理装置の閉止板およびコイルの枠に、腐食を確認した。当該部を修理。	2022/06/17	
3	その他	荒浜側焼却設備に異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、上部定量供給機ダンパー位置検出スイッチの不良による動作不良と推定。当該位置検出スイッチを交換。	2022/09/07	
4	その他	電源車の操作訓練時、軸受温度が基準値を超えていることを確認した。調査の結果、温度変換器の故障と推定。当該車両をメーカーにて修理。なお、当該電源車の修理期間中においても必要台数は確保可能なため、修理にともなう影響なし。	2022/09/05	

不適合情報

2022年9月12日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	その他	社内業務監査において、協力企業から提出された作業員名簿が社内マニュアルにもとづく管理・保管ができていないことを確認した。管理・保管方法を直ちに是正。社内ルールを再確認し注意喚起を実施。	2022/09/06	

不適合情報

2022年9月13日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋送風機(C)電動機の振動加速度および振動速度の測定値が、2022年5月12日以降上昇していることを確認した。また、軸受部で異音の発生も確認した。当該電動機を停止し点検・修理。なお、送風機は他に2台あり、空調機能に影響なし。	2022/09/07	
2	2号機	タービン駆動原子炉給水ポンプ(B)シール水中間抽出調節弁周辺で、空気漏えい音の発生を確認した。調査の結果、圧力調節弁駆動空気用小弁に、計装用圧縮空気の漏えいを確認した。当該小弁を交換。	2022/09/09	
3	3号機	中央制御室において、プラント表示装置(信号入出力計算機)ディスプレイ(#11、#12、#13)の画面印刷ができないことを確認した。調査の結果、プラント監視サーバの不調と推定。当該サーバを再起動。なお、他のディスプレイで画面印刷は可能なため、プラントの監視に影響なし。	2022/09/08	
4	4号機	原子炉建屋1階(管理区域)北側手動二重扉の内扉開閉ハンドルが空回りし、扉を閉できないことを確認した。非常用手動ハンドルにて閉し、二重扉の使用を禁止。当該二重扉を点検し修理済み。なお、事象発生時に外扉は閉状態であったことから、原子炉建屋の気密性に影響のなかったことを確認済み。	2022/09/07	
5	4号機	原子炉建屋1階(管理区域)北側手動二重扉の内扉開閉ハンドル空回りの修理において、二重扉開閉時に正常動作/異常警報の発生を繰り返すことを確認した。調査の結果、近接センサーの動作不良と推定。当該近接センサーを交換。	2022/09/08	

不適合情報

2022年9月14日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	取水口除塵装置バー回転式スクリーン(A)(B)(C)(D)およびトラベリングスクリーン(A)(B)(C)(D)の洗浄水配管フランジ部に、腐食を確認した。当該部を修理。	2022/05/25	
2	3号機	取水口除塵装置用門型クレーンの上部および横行装置用シャフトに、腐食を確認した。当該部を修理。	2022/06/01	
3	6号機	コントロール建屋地下1階(非管理区域)の、コントロール建屋～サービス建屋連絡扉(水密扉)下側締付機構に破損を確認した。応急処置として締付機構取り外し。当該水密扉を修理。なお、締付機構を取り外しても水密扉としての機能を維持できることを確認済み。	2022/09/09	

不適合情報

2022年9月16日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 13件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋換気空調系空冷チラー(F)に潤滑油圧力低の警報が発生し、自動停止したことを確認した。現場を確認したところ、チラーコイル周辺部に潤滑油にじみおよびフロンの漏えい音を確認した。漏えいしていた潤滑油が排水溝に流出していたことから、油吸着マットを敷設し回収および排水溝への油の流入防止処置を実施。フロンの漏えいについて長岡地域振興局に連絡済み。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、油の構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2022/09/09	
2	1号機	コントロール建屋地下2階(管理区域)南東コーナーおよび南側通路の側溝に水溜まり(約80cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。調査の結果、非放射性ストームドレン移送系配管の溶接部にごく小さな孔が発生し、滴下していることを確認した。止水カップリングにて仮復旧済み。当該配管を交換。	2022/09/10	
3	1号機	中央制御室において、荒浜側洗濯設備建屋地下2階の火災監視システム(火災検知器と監視カメラとの連動システム)カメラ(No. B2-4)に、動作不良を確認した。当該カメラを点検・修理。なお、他のカメラは正常で監視に影響なし。	2022/09/10	
4	2号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)に、消音器からの異音発生を確認した。圧縮機の運転を切替(B→A)。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/12	
5	2号機	中央制御室居住性確認検査の検査前条件を確認する均一化確認試験において、トレーサガスの濃度分布が平均値との差±10%を維持できないことから、居住性確認検査を延期することを確認した。空調機械室の風量バランス調整および中央制御室エリアの貫通部を再確認し、均一化確認試験を再実施。問題ないことを確認できたことから、中央制御室居住性確認検査を実施。	2022/09/13	
6	3号機	サービス建屋地下1階の管理区域で作業するための保護衣・保護具の保管室(管理区域)において、協力企業作業員が点検のため保温材を外した際に空調ダクトに穴(直径1cm程度、2箇所)が開き、その穴から空気が吸引されていることを確認した。養生テープにより応急処置済み。その後、当該ダクトから吸引された空気が非管理区域側へ流れていたことが判明したため、ダクト穴周辺で放射能測定を実施し、汚染がないことを確認済み。当該ダクトを交換。 【2022年9月14日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2022/2022091401p.pdf	2022/09/13	
7	3号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機の運転切替(C→A)時、冷凍機(A)冷媒蒸発圧力指示値が低いことを確認した。調査の結果、圧力指示計の動作不良と推定。当該指示計を点検・校正。	2022/09/13	
8	3号機	取水口除塵装置洗浄水母管接点付圧力計本弁フランジ部に腐食を確認した。当該弁を交換。	2022/05/25	
9	6号機	原子炉内蔵型再循環ポンプ/制御棒駆動機構取扱装置の使用前動作確認時、主操作盤電源が自動遮断し操作できないことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/13	
10	6号機	タービン建屋地下2階(管理区域)北東エリアでの配管溶接工事において、作業箇所近傍の火災感知器に誤報防止のためカバーを設置して作業を行った。作業完了後にカバー撤去したところタービン建屋全域の火災警報が発報したことを確認した。現場確認を行い、炎や煙の発生のないことを確認。調査の結果、カバーを取り外す際にダストを吸い込み、感知器が動作したものと推定。カバー取り外し手順を見直し作業員に周知。	2022/09/14	
11	その他	荒浜側焼却設備炉において、炉底蓋シール空気流量低の警報が発生し、炉底蓋シール用コンプレッサー(A)の運転圧力が低下したことを確認した。コンプレッサーの運転を(A・B)の交互運転から、(B)の単独運転に切り替え、空気流量・圧力が規定値に復旧したことを確認済み。当該コンプレッサーを点検・修理。	2022/09/09	
12	その他	荒浜側補助ボイラー給水タンク(A)水位調整弁にシートパスを確認した。当該調整弁を点検・修理。	2022/09/10	
13	その他	荒浜側焼却設備の灰ドラム交換時に、灰ドラム缶キャッピング位置のドラム缶状態を確認したところ、焼却灰がドラム缶の上端を超え、蓋閉めが出来ないことを確認した。調査の結果、移送コンベアが停止した際に焼却灰が落下し、規定量を超えたものと推定。焼却設備の運転を停止。焼却灰を空ドラム缶に移し、蓋閉め済み。焼却灰取り出し手順を見直し、ガイドを改定・周知。	2022/09/12	

不適合情報

2022年9月20日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. GⅠグレード 0件
- 2. GⅡグレード 0件
- 3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉建屋管理区域の南西階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/09/13	
2	2号機	放射性廃棄物処理設備高電導度廃液系収集ポンプ(B)の点検時、ポンプ出口濃縮装置側移送配管ドレン管からブロー水が排出されないことを確認した。調査の結果、ドレン管の詰まりと推定。当該ドレン管を点検・清掃。	2022/09/14	

不適合情報

2022年9月21日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	取水電源室周辺屋外照明灯の消灯および屋外照明分電盤の漏電遮断器が作動していることを確認した。電源回路の絶縁抵抗測定を行い、問題のないことを確認し復旧済み。当該事象の原因を調査し対応を検討。	2022/09/03	
2	1号機	放射性廃棄物処理設備高電導度廃液系中和装置硫酸ポンプ(A)吐出逃し弁点検後の漏えい確認検査において、シートパスを確認した。当該弁を修理。	2022/09/15	
3	2号機	高圧炉系スプレイ系非常用ディーゼル発電機の点検時、排気管伸縮継手の蛇腹部にへこみを確認した。当該蛇腹部を交換。	2022/09/12	
4	その他	環境管理棟灰化室排風機屋外排気ダクトに、亀裂を確認した。当該ダクトを点検・修理。なお、灰化室の設備利用に影響なし。	2022/08/24	
5	その他	水処理設備空気圧縮機(A)のドレン操作時、ドレン弁シャフト付け根部に凝縮水および空気の漏えいを確認した。当該ドレン弁を点検・修理。	2022/09/12	

不適合情報

2022年9月22日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	屋外に設置している空調設備(非管理区域)において、微量の油漏れがあり、設備の停止および油漏れ箇所の養生等を実施していた。(不適合情報として9月20日にホームページへ掲載済) 9月20日に当該設備の状況を確認したところ、空調設備の養生箇所から油膜が拡がっていることを確認した。油膜を吸着マットにより回収したところ、油膜が排水路に通じていたことから、極僅か(数十cc程度)な量が港湾内に到達した可能性があることを長岡地域振興局に報告。 【2022年9月21日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2022/2022092101p.pdf	2022/09/20	
2	2号機	取水口除塵装置パー回転式スクリーン(F)の筐体上部およびアングル、トラベリングスクリーン(F)の手摺り下部、洗浄水ストレーナー(B)の下部サポートに腐食を確認した。当該部を修理。	2022/05/25	
3	2号機	排気筒(屋外)の気体廃棄物処理系配管に腐食を確認した。当該部を修理。なお、腐食は配管を貫通しておらず漏えいはなく、機能に問題なし。	2022/06/08	
4	3号機	タービン建屋(屋上)の空気抽出槽/密封油制御装置/固定子巻線冷却水装置の大気放出管フランジ部および配管サポート、主油タンク/電動駆動原子炉給水ポンプ(A)/油清浄機/制御油貯油タンク~高圧制御油圧ユニット/給水ポンプタービン主油タンク(A)/電動駆動原子炉給水ポンプ(B)の両仕舞および配管口・配管口網に腐食を確認した。当該部を修理。	2022/07/06	

不適合情報

2022年9月26日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 13件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉建屋空調機室の照明用スイッチボックス内から、結露水の滴下を確認した。拭き取り実施済み。電線管接続部のシール状況を点検し閉塞処置を実施。	2022/09/16	
2	2号機	取水口除塵装置制御盤に水位差異常の警報が発生し、E水路(山側)の水位指示値が上限を超えたことを確認した。計器を再起動し通常状態に復旧済み。	2022/09/20	
3	2号機	タービン建屋(屋上)ハッチの雨仕舞および所内蒸気系大気放出管・サポート・雨仕舞に腐食を確認した。当該部を修理。	2022/07/11	
4	4号機	ほう酸水貯蔵タンクエア配管洗浄作業の攪はん用空気入口弁開閉操作時、シートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2022/09/15	
5	4号機	250V蓄電池の定例点検時、No. 35、43、60セルの単電池電圧および比重値が、管理値を逸脱していることを確認した。なお、単電池電圧が使用限界電圧(1.8V)以上のため、機能に影響なし。	2022/09/15	
6	4号機	プラント内放送設備(拡声装置)のスピーカーから、異常音が断続的に鳴動したことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/17	
7	5号機	計装用圧縮空気系除湿装置(B)圧力低下にともなう調査において、除湿装置(B)の入口弁/冷却再生空気入口弁/出口逆止弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2022/09/09	
8	5号機	放射性廃棄物処理設備中央制御室において、制御用コントローラー盤および多重伝送現場盤異常の警報の発生を確認した。調査の結果、多重伝送現場盤内の電源ユニットの異常と推定。当該電源ユニットを修理。	2022/09/19	
9	5号機	原子炉建屋最上階(管理区域)北西側ブローアウトパネル下部に、雨水の浸入(約2リットル、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/09/20	
10	6号機	換気空調補機常用冷却水系(A)冷媒凝縮温度計の指示値が、通常より高い値を指示していることを確認した。調査の結果、計器の指示不良と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/19	
11	7号機	耐火扉(自主対策水密扉)の検査前現場調査において、7号機タービン建屋地下1階原子炉建屋～タービン建屋間非管理区域連絡通路南側階段室およびコントロール建屋1階西側階段室のパッキンに変形を確認した。現状で扉の水密要求がないことから継続監視。なお、扉閉鎖および耐火性能に影響のないことを確認済み。	2022/09/13	
12	その他	代替熱交換器操作訓練において代替熱交換器ユニット用トレーラー(2台)を移動しようとしたところ、一部のタイヤが回転しないことを確認した。当該車両を点検・修理。なお、他のトレーラーに異常はなく、代替熱交換器ユニットの移動に影響なし。	2022/09/14	
13	その他	原子力規制庁との3号機保安規定変更認可申請書のヒアリングにおいて、添付資料の柏崎刈羽原子力発電所3号炉高経年化技術評価書補足説明資料のうち共通事項別紙が、説明内容と一致していないとの指摘を受けた。調査の結果、記載内容が2号機保安規定変更認可申請時のものであったことを確認した。書類作成時のひな形データ管理方法を再確認し周知。	2022/09/15	

不適合情報

2022年9月27日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	非常用ディーゼル発電機(A)ミスト管雨仕舞修理工事において、ミスト管サポートに腐食を確認した。当該サポート部を修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2022/09/14	
2	5号機	変圧器類焼防止ポンプ噴霧先の切替(低起動変圧器5SA→5SB)時、5SAの防災仕切弁が全閉にならず、異常を示す警報が発生したことを確認した。調査の結果、仕切弁の固着と推定。変圧器5SA入口弁を全閉し、周辺での火気作業を禁止。当該仕切弁を点検・修理。	2022/09/21	
3	6号機	取水口除塵装置海側周辺監視用テレビモニタ装置(No. 27)の照明灯が、点灯・消灯を繰り返すことを確認した。当該照明灯を点検・修理。なお、隣接するモニタ装置は正常で、監視に影響なし。	2022/09/19	
4	7号機	タービン建屋原子炉補機冷却系(C)熱交換器室海水ストームドレン排水槽に、排水不良およびピット内の腐食を確認した。当該排水槽を清掃・修理。	2022/09/22	

不適合情報

2022年9月28日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GIグレード 0件

2. GIIグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	その他	2022年9月8日、社内マニュアル改訂準備のために前回の実施状況を確認していたところ、マニュアル改訂時に添付する審査のためのチェックシート(保安規定120条対象記録に該当、5年間保存)が見当たらないことに気づいた。当該シートの検索とともに、社内規定で定められた過去10年分のチェックシートについて保存状況を調査した結果、合計5件の未保存を確認した。なお、マニュアル改訂時には、マニュアル総括担当箇所が必ず当該チェックシートを使用して第三者審査を行う手順となっていることから、作成はされていたものと判断。当該事象の原因を調査し、改善策を検討。 【2022年9月27日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2022/2022092701p.pdf	2022/09/26	—

3. GIIIグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	取水口除塵装置バケツスクリーン(A)(B)(C)(D)(E)(F)の筐体上部および階段手摺り、スクリーン洗浄水配管フランジおよびバルブハンドルのナット部、塵芥処理ピット階段、洗浄水配管母管フランジ部、補機スクリーンストレーナ(A)(B)配管フランジ部、点検架台グレーチングに腐食を確認した。当該部を修理。	2022/04/26	
2	2号機	軽油タンク防油堤内に溜まった雨水の排出において、担当者間の情報伝達不足により、雨水に油分が混入し一般排水基準値を超えていたにもかかわらず排出していたことを確認した。再発防止対策を検討。なお、排出した雨水の経路に油吸着材を設置しており、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2022/09/26	
3	3号機	タービン建屋2階(管理区域)排気エアフィルタ室通路天井に雨水の浸入および床面に水溜まり(2箇所、約400cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2022/09/20	
4	4号機	燃料プール冷却浄化系のサンプリングにおいて、使用済燃料貯蔵プールライナードレン漏えい検出配管液位計のドレン弁を全開しても微量な水量しか排出されず、計器元弁が開出来ないことを確認した。調査の結果、当該ドレン弁および計器元弁の詰まりと推定。当該ドレン弁および計器元弁を点検・清掃。	2022/09/20	
5	4号機	タービン建屋地下1階(管理区域)復水器室内西側床面に水溜まり(約5cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。調査の結果、非放射性ドレン移送系配管に微小な孔の発生を確認した。止水カップリングで応急処置済み。当該配管を交換。	2022/09/26	
6	5号機	原子炉補機冷却海水系ストレーナー(A)ドレン弁に、シートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2022/09/24	
7	6号機	原子炉建屋4階(非管理区域)南側階段室の壁面に、雨水の浸入跡を確認した。当該箇所を点検・修理。	2022/09/23	

不適合情報

2022年9月29日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	高圧炉心スプレィディーゼル補機冷却海水系ストレナー差圧計および高圧炉心スプレィディーゼル補機冷却水系熱交換器管側差圧計が、指示下限を逸脱していることを確認した。当該差圧計を点検・修理。	2022/09/21	
2	3号機	取水口除塵装置エリア屋外照明灯の消灯(3箇所)および屋外照明配電盤の漏電遮断器が動作していることを確認した。当該電源回路の電源を遮断。調査の結果、絶縁抵抗値が通常より低いことを確認。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/26	
3	4号機	取水口除塵装置エリア屋外照明灯の消灯(4箇所)および屋外照明配電盤の漏電遮断器が動作していることを確認した。当該電源回路の電源を遮断。調査の結果、絶縁抵抗値が通常より低いことを確認。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/26	
4	5号機	原子炉建屋付属棟3階(非管理区域)A系バッテリー室の照明が、スイッチを切操作をしていないにもかかわらず消灯することを確認した。調査の結果、電球切れの予兆動作またはスイッチの接点不良と推定。電球交換およびスイッチ動作の確認を行い復旧済み。	2022/09/23	
5	5号機	タービン建屋北側屋外照明灯の消灯(7箇所)および屋外照明配電盤の配線用遮断器が動作していることを確認した。当該電源回路の電源を遮断。調査の結果、絶縁抵抗値が通常より低いことを確認。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/20	
6	7号機	タービン建屋原子炉補機冷却系(C)熱交換器室海水ストームドレンサンブ排水不良にともなう配管洗浄時、排水ポンプ液位検出スイッチ(高側)の動作不良により、ポンプが停止しないことを確認した。当該検出スイッチを点検・修理。	2022/09/22	
7	その他	免震重要棟コンピューター室のエアコン室外機に、腐食を確認した。応急処置を行い、当該エアコンを交換。	2022/09/20	
8	その他	固体廃棄物貯蔵庫第1棟空調機械室空調機(AHU-1-1)の冷温水温度が、通常より高い値を指示していることを確認した。調査の結果、温度センサーの不良と推定。当該温度センサーを交換。	2022/09/21	

不適合情報

2022年9月30日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側補助建屋冷凍機(B)が、起動直後に無警報で自動停止したことを確認した。現場を確認したところ、冷凍機(B)操作盤の警告灯は未点灯で、放射性廃棄物処理設備中央制御室の制御盤に異常を示す警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査し、対応を検討。	2022/09/17	
2	4号機	使用済燃料輸送容器保管建屋において、誘導灯取替作業の中止にともない、取り外していた誘導灯を復旧し通電したところ、中央制御室に漏電を示す警報が発生したことを確認した。調査の結果、誘導灯器具内部のケーブルが誤接続であったことを確認した。正常な接続状態に修正し復旧済み。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を徹底。	2022/09/27	
3	その他	電源車の月例点検時、常備の接地ケーブルがなくなっている車両(1台)を確認した。当該電源車を使用禁止。接地ケーブルを調達し取り付け。なお、他の電源車に異常はなく、保安規定で定められている必要台数は確保可能なため問題なし。	2022/09/27	

不適合情報

2022年10月3日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	低電導度廃液系ろ過器(A)(B)パプリング用空気逆止弁の点検において、ろ過器ガスケットの調達に6ヶ月要することが判明し、点検期限を2023年9月まで延長が必要なことを確認した。点検期限の延長について技術評価を実施。	2022/09/29	
2	5号機	中央制御室において、タービン系計装信号入力装置画面にネットワーク接続機器異常の警報が発生していることを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2022/09/29	

不適合情報

2022年10月4日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	タービン建屋排気処理装置Cフィルタの差圧計に、計器誤差範囲を逸脱する指示を確認した。当該差圧計を点検・修理。なお、排気処理装置への影響なし。	2022/09/29	
2	7号機	原子炉エリア・タービンエリア換気空調設備点検における送風機(A)逆流防止ダンパー(A)の動作確認時、風量調整用ダンパーを開操作したところダンパーが動作せず、開度を確認出来ないことを確認した。逆流防止ダンパーの動作確認を中止。当該事象の原因を調査し風量調整用ダンパーを点検・修理。なお、換気空調機能に問題なし。	2022/09/30	

不適合情報

2022年10月5日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。
https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	中央制御室において、プロセス計算機に炉心監視サーバ1の異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、プロセス計算機側へマスタ信号を出力している基板の不良と判明。炉心監視サーバ1の稼働に影響のないことおよびプラント停止中のため、サーバ1を停止。対応を検討。	2022/09/29	
2	3号機	原子炉建屋最上階(管理区域)使用済み燃料プールに、線状のゴミ(長さ約50mm)が浮遊していることを確認した。当該ゴミを回収し異物混入防止対策を徹底。なお、回収したゴミはコーキング材と判明し、燃料に影響しないことを確認済み。	2022/09/28	
3	3号機	排気筒塗装工事における昇降設備での降下中に、異音の発生およびモーターボックスから発煙を確認した。地上まで到達後、公設消防に発煙を通報。確認の結果、降下中にブレーキが作動し、そのまま降下を続けたことから発煙したものと推定。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を検討。なお、公設消防による確認の結果、火災ではないと判断された。	2022/09/30	
4	5号機	原子炉建屋付属棟管理区域の北東階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/09/30	
5	7号機	管理区域に配備している緊急資機材の点検作業完了後に退出処理を行っていたところ、入退域管理装置に異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、作業に必要な防護指示書および実施計画承認書は提出していたものの、作業件名届の作業終了期限延長を失念していたことが原因と判明。作業終了期限を変更した放射線管理変更申請書を提出し、データ登録内容を修正。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を検討。	2022/09/29	
6	7号機	タービン建屋管理区域の東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/10/01	

不適合情報

2022年10月6日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	補機冷却海水ポンプの定例切替時、ポンプ(C)を停止したところ、吐出圧力計に指示のずれを確認した。当該圧力計を点検。	2022/09/27	
2	2号機	中央制御室居住性確認検査の準備において、検査の前提条件が成立できないことを確認したことから、検査を延期。検査期限を過ぎても、前回検査実施以降に中央制御室の気密性に影響のある工事が実施されていないことから、気密性に影響なし。検査期限を過ぎた場合は、検査終了まで照射燃料に係る作業の規制を実施。	2022/10/03	
3	5号機	タービン建屋管理区域の東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2022/10/03	
4	5号機	国際原子力機関による査察のため、天井クレーン年次点検の記録を確認したところ、有効期限が切れていること、国際原子力機関へ当該クレーンの使用可否について誤った報告をしていたことを確認した。国際原子力機関へ連絡し、当該クレーンを使用する検査以外を査察実施済み。追加査察で検査を実施予定。	2022/09/30	
5	5号機	中央制御室の防災監視盤に、熱交換器建屋地下2階(非管理区域)での異常を示す警報が発生したことを確認した。現場を確認し、炎や煙の発生がないことを確認。感知器を交換。	2022/10/04	
6	7号機	復水貯蔵槽外部接続口、使用済燃料プール外部注水口、原子炉格納容器注水口に腐食を確認した。当該部を修理。	2022/10/04	
7	その他	荒浜側焼却設備の点検作業において、小容量電源盤の電力量計に動作不良を確認した。当該の計器は焼却炉運転に必要な制御器ではなく、外部への信号も出力していないことから、長期保管計器として運用。	2022/09/29	
8	その他	モニタリングポスト(No. 1)監視端末に局舎内温度の異常を示す警報が発生した。現場を確認したところ、エアコンの故障を確認した。当該エアコンを修理。	2022/10/03	

不適合情報

2022年10月7日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

- 1. G I グレード 0件
- 2. G II グレード 0件
- 3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	放射性廃棄物処理設備の点検作業において、低電導度廃液系収集ポンプ(B)電動機冷却ファンに亀裂を確認した。作業を中止し、安全処置を実施済み。冷却ファンを交換し、原因を調査。	2022/10/03	
2	1号機	変圧器防災装置手動起動試験を実施したところ、1号高起動変圧器冷却装置に異常を示す警報が発生した。現場を調査したところ、ユニットクーラー(No. 2)中継端子箱の腐食、水の浸入を確認した。腐食箇所を修理。ユニットクーラー(No. 2)を停止。当該変圧器の冷却に影響なし。	2022/10/05	
3	2号機	原子炉水位/スキマーサージタンク水位/サブプレッションプール水位記録計デジタル表示部固定用のツメに破損を確認した。デジタル表示部を交換。	2022/10/03	
4	3号機	原子炉格納容器内への空気吹出口にガラス繊維およびプラスチック板の破片の付着を確認した。当該破片を調査したところ、原子炉格納容器の空調系に設置されているフィルタの濾材(ガラス繊維)および構造材(プラスチック)であることを確認。また、吹出口と同じ濾材が圧力抑制室のプール水面に浮遊していることを確認。回収作業を実施。なお、発見されたものによる燃料への影響はなく、非常用炉心冷却系フィルタの閉塞にも影響なし。	2022/10/05	

不適合情報

2022年10月11日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	2号機	高圧炉心スプレー系ディーゼル発電機室(非管理区域)において、点検後の復旧作業にともない燃料タンクからディーゼル機関への燃料(軽油)の通油作業を実施していたところ、燃料配管の継ぎ手部分から油漏れを確認した。通油作業を中止し、公設消防へ連絡。漏れた油の量は約100リットルと推定。油の外部等への流出はなく、環境への影響なし。 【2022年10月5日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2022/20221005p.pdf	2022/10/04	-

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	タービン建屋1階(管理区域)西側天井部に雨水の浸入および床面に水溜まり(約1.8cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検し修理。	2022/10/05	
2	3号機	タービン建屋1階(管理区域)北東側天井部に雨水の浸入(滴下なし)を確認した。当該箇所を点検し修理。	2022/10/05	
3	5号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)の無負荷運転時、気水分離器の圧力指示値が通常より低下していることを確認した。圧縮機の運転を(A)に切り替え。調査の結果、空気圧縮機(B)～気水分離器出口逆止弁間の配管での空気漏れと推定。当該配管を点検・修理。	2022/10/03	
4	6号機	原子炉建屋最上階(管理区域)使用済み燃料プールの底部に、燃料に影響をおよぼさないゴミ(円形状:直径約30mm、破片:長さ約10mm)が沈殿していることを確認した。当該ゴミの回収方法を検討。	2022/10/05	
5	その他	固体廃棄物処理建屋における充填固化体廃棄体製作作業において、モルタル供給装置からモルタルが排出されず、モルタルポンプ過負荷の警報が発生し自動停止したことを確認した。装置内のモルタルを除去。当該装置を清掃し点検。	2022/10/05	

核物質防護に関する不適合情報

2022年9月6日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/4/1	
2	監視用設備の通信エラーが発生した。監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/4/1	
3	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/8/2	
4	核物質防護上の扉における認証装置が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2022/8/15	
5	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/9/2	

核物質防護に関する不適合情報

2022年9月27日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作を繰り返すことを確認した。侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該侵入検知器を交換し、正常な状態に復旧した。	2022/9/10	

核物質防護に関する不適合情報

2022年10月4日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2021/12/7	
2	核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2022/1/11	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2022/9/23	

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2022年10月)

2022年10月13日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況										補足説明
			11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4 ~ 2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定期検査による停止										<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3 ~ 2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定期検査による停止										
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12 ~ 2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定期検査による停止										
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9 ~ 2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定期検査による停止										
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24 ~ 2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定期検査による停止										
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31 ~ 2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定期検査による停止										
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18 ~ 2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定期検査による停止										

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (9月末現在)

9月	0.0%
2022年度累計	0.0%
運転開始後累計	40.9%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (9月末現在)

9月	0
2022年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (9月末現在)

当月発生本数	145
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,301
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2022年度第1四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (10月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※1
県内	柏崎市	795	2,192	56%
	刈羽村	72	214	5%
	その他	142	937	20%
	小計	1,009	3,343	81%
県外		130	862	19%
合計		1,139	4,205※2	-
		5,344		100%
協力企業社数(社)		665		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
 ※2 参考：10月3日の協力企業構内入構者数3,547人

⑦ 来客情報(人) (9月末現在)

	9月	年度累計
地元	535	5,480
県内	417	3,259
県外	468	2,523
国外	18	37
合計	1,438	11,299

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
10月15日、16日	映画観賞会(西山ふるさと館多目的ホール)
10月22日、23日	ハロウィンイベント(サービスホール)
10月27日	定例所長会見(予定)
11月10日	定例記者説明会(予定)
12月10日、11日	映画観賞会(柏崎市産業文化会館 1階文化ホール)

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html

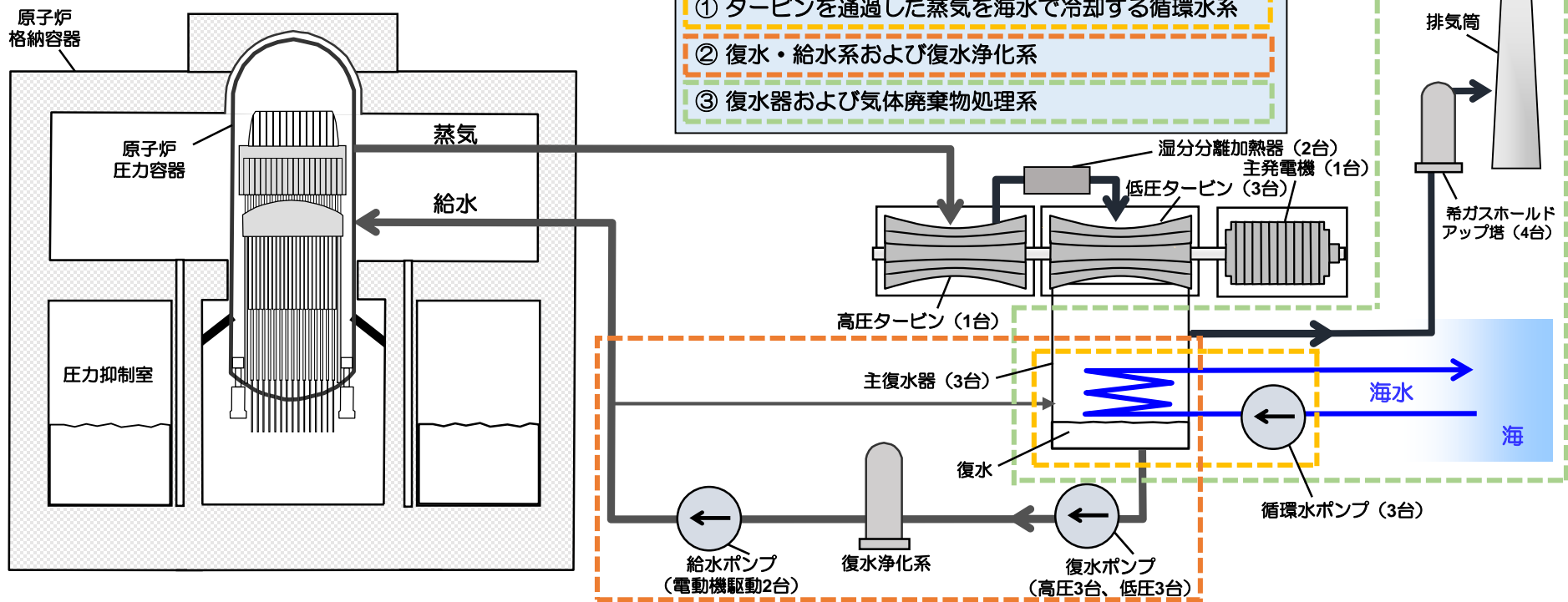
東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

柏崎刈羽原子力発電所7号機における主要設備の健全性確認について

2022年10月13日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- 発電所の目指す姿のひとつとして「安全対策工事の完遂と、主要設備の機能が十分に発揮できること」をお伝え（9月30日）
- その一環として、7号機非常用ディーゼル発電機（C）の24時間運転を実施（10月4日～5日）
11月上旬に非常用ディーゼル発電機（B）、12月上旬に非常用ディーゼル発電機（A）を実施予定
- また、10月14日から、長期間使用していないタービン系の主要設備の健全性確認を順次実施

全体概要図



① タービンを通過した蒸気を海水で冷却する循環水系

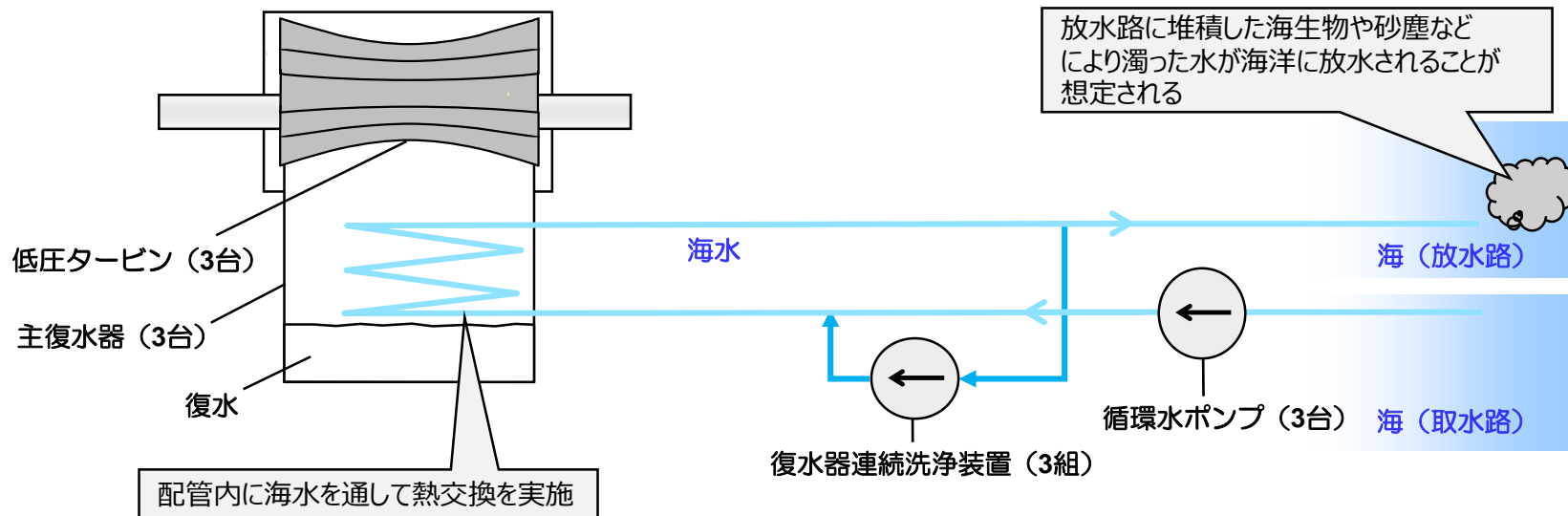
【健全性確認の概要】

➤ 循環水系配管内の水張り（海水）を行い、循環水ポンプを起動後、健全性確認を実施

- ・ 循環水ポンプ、復水器連続洗浄装置の動作確認
- ・ 循環水系配管の漏水チェック

※その際、長期間使用していなかったことで放水路に堆積した海生物や砂塵などにより、濁った水が海洋に放水されることが想定されますが、自然由来のものであることから、環境への影響はないと考えております

概要図

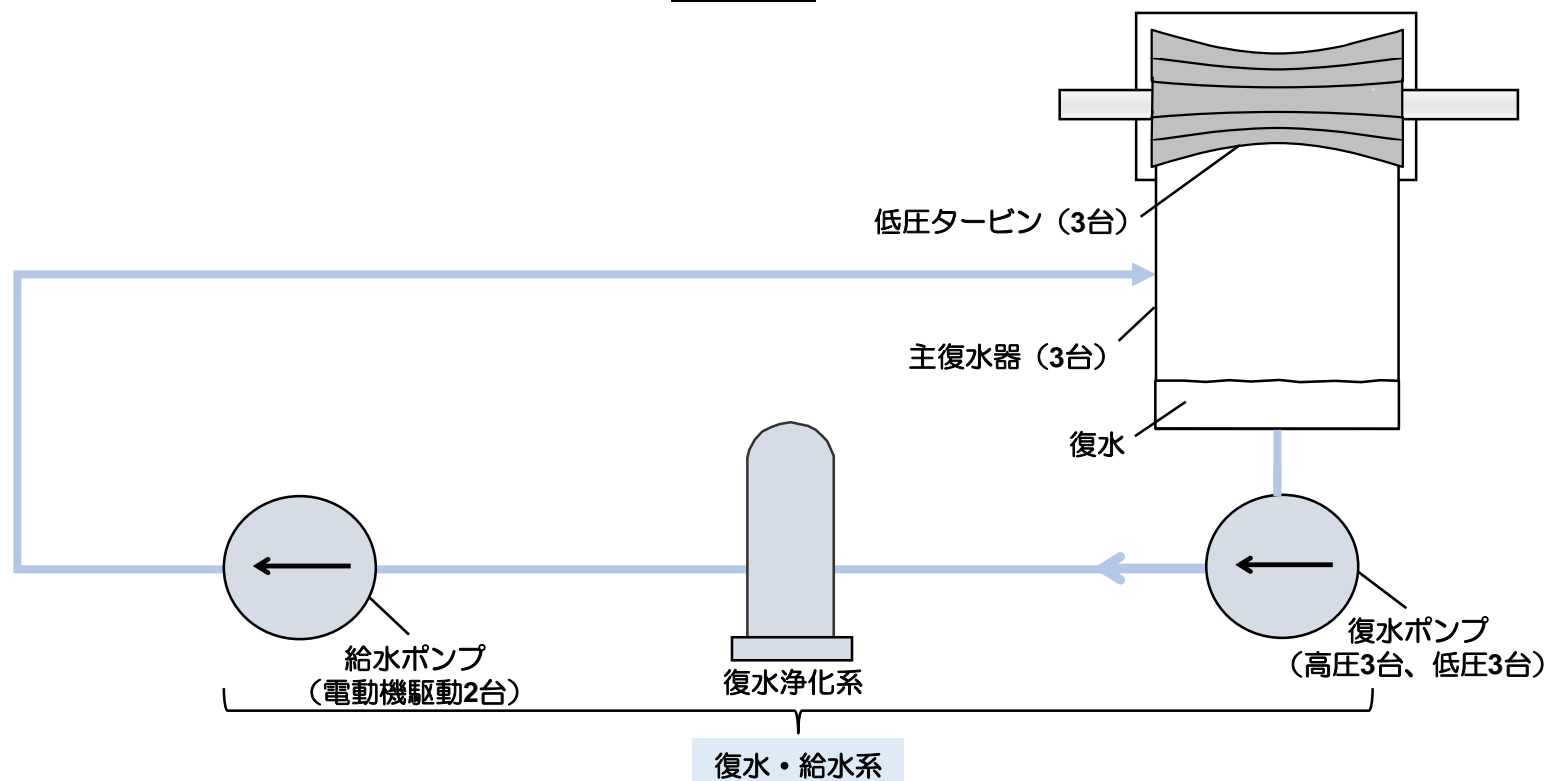


② 復水・給水系および復水浄化系

【健全性確認の概要】

- 主復水器および復水・給水系の配管内の水張りを行い、復水ポンプと給水ポンプを起動後、健全性確認を実施
 - ・ 復水ポンプ、給水ポンプの動作確認
 - ・ 復水・給水系配管からの漏水チェック

概要図

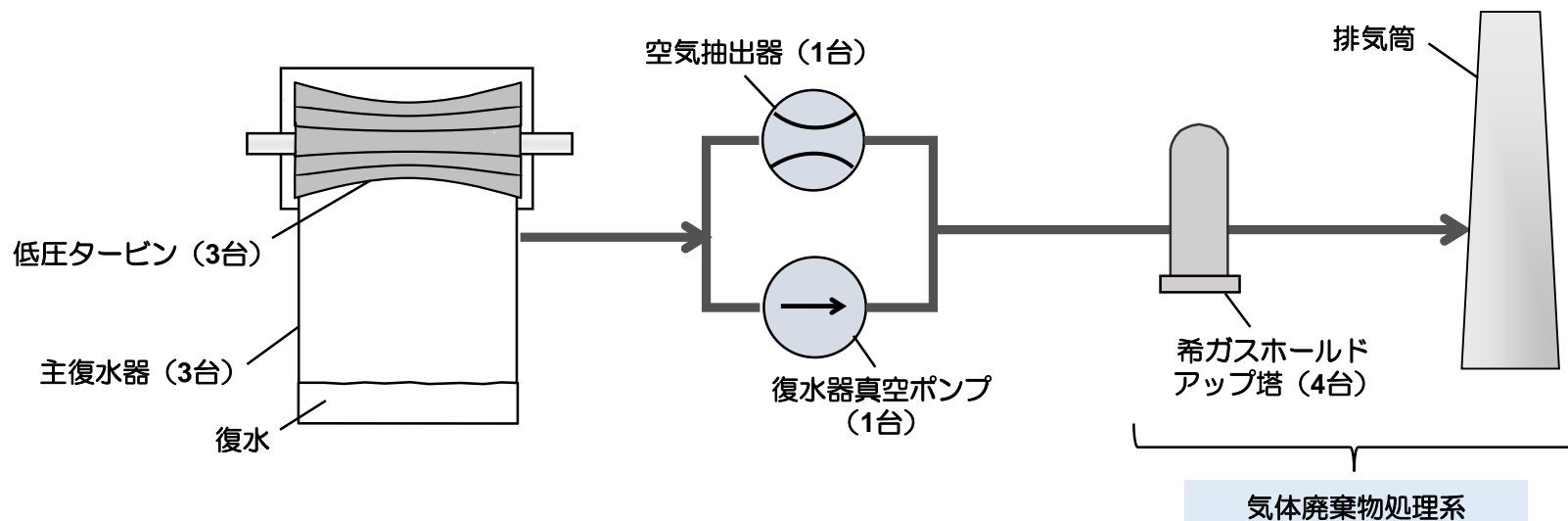


③ 主復水器および気体廃棄物処理系

【健全性確認の概要】

- 主復水器を真空状態にし、主復水器に接する設備等に外気侵入が発生していないか確認
 - ・ 主復水器を真空にするための設備（空気抽出器、復水器真空ポンプ）の動作確認
 - ・ 主復水器と主復水器に接する設備の隙間からの外気侵入確認
 - ・ 気体廃棄物処理系への外気侵入確認

概要図

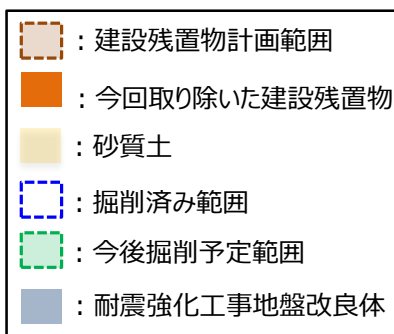
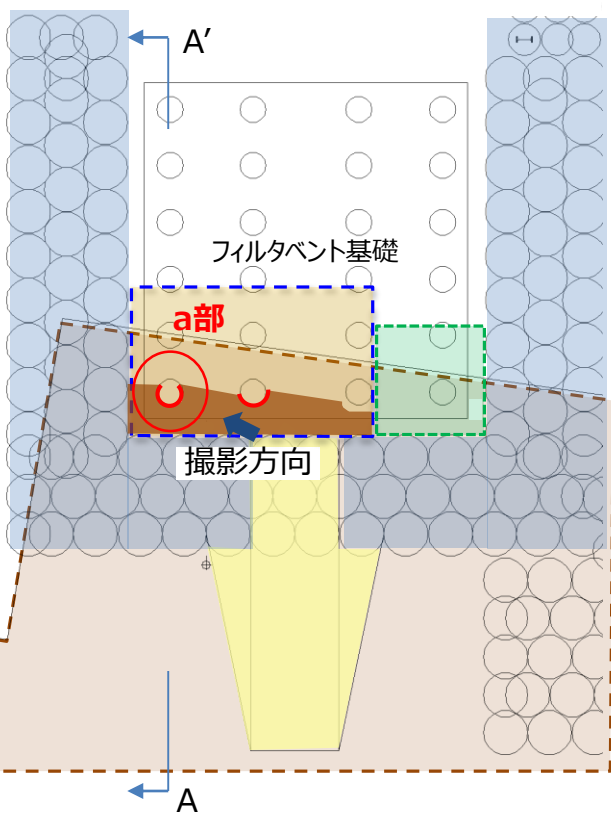


6号機フィルタベント基礎建設残置物調査状況

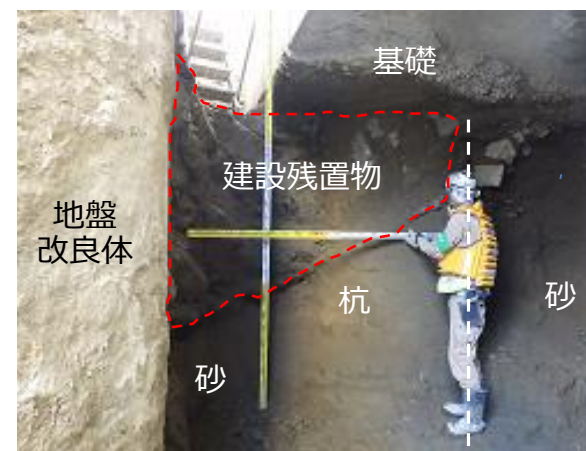
- 調査を進める中で、建設残置物が接していた1本目の杭に次いで、2本目の杭（南東角）に接している状況を確認
- 確認された杭近傍の建設残置物については全て撤去済み



6号機フィルタベント基礎平面図



a部写真



A-A'断面図

